

和紙 漆 壁紙 ■ 施工方法マニュアル ■

WASHI JAPANESE LACQUER WALL COVERINGS : GUIDE FOR CONSTRUCTION

標準施工方法 GENERAL GUIDE FOR CONSTRUCTION

該当商品：

アワガミファクトリー インテリア和紙 の下記の商品に該当しています。

- 漆

施工前の準備

- ・ 1枚1枚の色目や風合いが異なるため、施工前に仮並べを行い、全体の色目やバランスをとる。
- ・ 材料を施工する場所の寸法に合わせて、裁断する。
- ・ 下地を拾いやすいので入念に平滑性をチェックし、下地と同系色のパテで限りなく平滑にする。
- ・ 割付は、ジョイント重ね部が目立たないように、視線から遠いところから張り出し始める。(もしくは、重ねた部分の段差によって影が出来ないように、光の射す方向から貼り始める。

施工方法

① ジョイント部 (サンディング)



20mm程度サンディング

① ジョイント部 (サンディング)

- ・ 20mm位の重ね施工でジョイントする。
- ・ 材料の特性上吸水性が悪いので、接着力が弱いので、接着力を高めるべく、重ね部の両面へペーパーがけをする。(サンダがけをする。番手#100程度にて)



サンディング後



② 糊の塗布



糊は均一に塗布

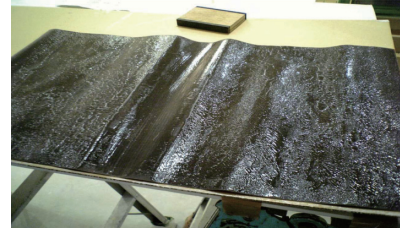
② 糊の塗布

- ・ 材料の裏面に、酢ビ入り糊(ペンリダインBB308:ゼロホルマリン等)を10:8の希釈で塗布量は通常で均一に塗布する。

③ オープンタイム



折ジワのつかないように



サンディング後

③ オープンタイム

- ・折ジワのつかないように、糊着け後はきつく折りたたんだり、湾曲部に重荷がかからないようにする。
- ・オープンタイムは材料の性質上長め取る。→後伸び・浮き・カール等の防止のため
- ・環境によって変わりますが、オープンタイム15～30分位(気温15℃～20℃)で、ビニール袋に入れるなどして相剝しないように、うませ時間を調整する。

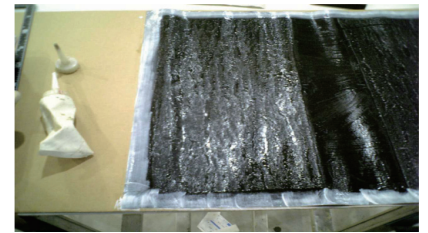
④ 重ね部への接着補強



1. 重ね部の糊・水分を拭き取る



2. サクビ糊を塗布する



3. サクビ糊を刷毛で広げたところ

④ -1

- ・重ね部(周囲20mm位)へ**酢ビ糊(ベンリダインBB450:300クリーン)**を塗布するため、酢ビ糊が薄くならないように糊・水分を充分拭き取る。

④ -2～3

- ・酢ビ糊を塗布し、刷毛で広げる。
- ・その後、折りたたまずにオープンタイムを5～10分位(気温15℃～20℃)をとる。

⑤ 施工(貼り付け作業)

- ・ 酢ビ糊塗布後、5～10分くらいオープンタイムを取って、貼り付け作業を開始する。
- ・ 柔らかい撫でブラシを使用し、刷毛掛けは幅方向に行い表面に傷がつかないように十分に注意する。
- ・ 表面に糊が残ると変色の恐れがあるので、糊はきれいなタオルで完全に拭き取ること。